

研究発表題目（企画シンポジウム・部門別口頭発表） 3月8日 午前 1/2

会場	331	332	341	342	343	411	412
開始時刻			S11 生理部門シンポ	S12 広葉樹林化	S5 原発事故後の生物		
9:00			S11-1 スギの成長特性：丹下健（東京大学）	S12-1 広葉樹林化の困難性と可能性：酒井武（森林総合研究所）	S5-1 森林に降った放射性セシウムの動態：小松雅史（森林総合研究所）ら		
9:15			S11-2 モデル植物としてスギを使う～針葉樹における新奇の光合成代謝の解明を例に：宮澤真一（森林研究・整備機構 森林総合研究所）ら	S12-2 静岡県における針広混交林化に関する取組と現状について：高田航（静岡県）ら	S5-2 福島第一原発事故後に観察されたモミの形態変化の検証：渡辺嘉人（量子科学技術研究開発機構）		
9:30			S11-3 遺伝子発現から探るスギの高温順化メカニズム：伊原徳子（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所）	S12-3 下層植生の回復と表土流出の抑止に及ぼすヒノキ人工林の間伐方法の影響：渡邊仁志（岐阜県森林研究所）	S5-3 帰還困難区域内外に自生するアカマツのDNA融化解損レベルの比較：水澤玲子（福島大学）ら		
9:45				S12-4 日照条件からみたスギ・カラマツ人工林の伐採幅の検討：宋宮文晴（公益財団法人日本自然保護協会）	S5-4 低線量率放射線による突然変異リスクの迅速評価法の開発：上野真義（森林総合研究所）ら		林政 1
10:00				S12-5 関東森林管理局における広葉樹林化の取組：諏訪実（関東森林管理局）	S5-5 福島に住むことになった研究者が見たこと、考えたこと、取り組んだこと：兼子伸吾（福島大学）		A1 地方自治体の森林行政担当者の知識と情報源：石崎涼子（森林研究・整備機構 森林総合研究所）
10:15				S12-6 広葉樹林化を加速させる播種方法：星野大介（森林研究・整備機構）			A2 森林環境譲与税の用途に対する嗜好評価：秩父市を事例とする選択型実験：片田陽菜（筑波大学大学院）ら
10:30							A3 都道府県による小規模林業者への機械導入支援の実態：尾分運也（兵庫県立大学）ら
10:45						教育 1	討論・調整
11:00						C1 19世紀ドイツの林業作業 - 1833年のバーデン森林法 その2: 寺下太郎（愛媛大学大学院農学研究科）	A4 The role of the FCS under state-owned forest farm reform -case study in Huanglong Mountain Forestry Bureau: 王一聰（九州大学）ら
11:15						C2 地域の固有種にみる森林環境教育の可能性 - 対馬市と日南町の政策から - : 杉浦克明（日本大学）ら	A5 タンザニアのPFM政策における住民参加の実態（仮）：福岡崇（亜細亜大学）
11:30						C3 世界自然遺産登録を契機に地域を学び直す地方自治体職員の実容 - 大島順子（国立大学法人 琉球大学）ら	A6 発表取消
11:45						討論・調整	討論・調整
12:00							

研究発表題目（企画シンポジウム・公募セッション・部門別口頭発表） 3月8日 午前 2/2

会場	413	431	432	441	442	443
開始時刻		S4 農林業センサス	S3 生物多様性枠組	S2 都市住民と森林	S10 木質バイオマス	S8 山林の変化と災害
9:00		S4-1 2010年から2020年までの農林業センサスデータの接続とその分析意義：多田忠義（株式会社森林中金総合研究所）ら	S3-1 昆明・モントリオール生物多様性枠組実現に向けた産学官の役割：香坂玲（東京大学大学院）	S2-1 森林への関心と訪問をめぐる調査・研究の動向：高山範理（国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所）ら	S10-1 木質バイオマス燃料供給の現状とこれからの木質バイオマスの可能性：有賀一広（宇都宮大学）ら	S8-1 森林の水資源養機能の概念が生み出された背景を探る：谷誠（元京都大学）
9:15	経営 I	S4-2 個票データに基づく林業経営体の参入・退出の地域差に関する分析：多田忠義（株式会社森林中金総合研究所）ら	S3-2 生物多様性の価値評価とWeb調査分析：栗山浩一（京都大学）	S2-2 都市住民における森林無関心層・無訪問層の実態把握：小田龍聖（森林総合研究所）ら	S10-2 東北における木質バイオマスを含めた木材流通の実態：鈴木信哉（ノースジャパン素材流通協同組合）	S8-2 森林の成立に伴う物質循環機構の変化：徳地直子（京都大学）
9:30		S4-3 2010～20年センサスにおける林業経営体数と素材生産量の全般的な動向：藤掛一郎（宮崎大学）ら	S3-3 自然共生サイトの概要と傾向：蒲地紀幸（環境省）	S2-3 都市および地方居住者の自然・森林に抱く愛着：大塚啓太（森林総合研究所）	S10-3 九州における木質バイオマス発電・燃料供給の実態：森山和浩（日本フォレスト株式会社）	S8-3 神奈川県における太平洋戦争末期の松根油緊急増産：齋藤敏生（東京大学）ら
9:45		S4-4 農林業センサスにおける極小規模所有者を含む林家の動向：芳賀大地（鳥取大学）ら	S3-4 炭素貯留・生産林の効率的な管理に向けたドローン3次元計測の試行：山口毅志（鹿島建設株式会社）ら	S2-4 ソーシャルメディアへの投稿に見る来訪者の森林空間利用と自然体験への関心：神宮翔真（森林総合研究所）	S10-4 定期アンケートに基づく国内の木質燃料の需給動向と安定供給に向けた一考察：大久保敬宏（一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会）	S8-4 気候変動と土砂災害の発生状況、社会的認識の変化：内田太郎（筑波大学）ら
10:00		S4-5 積極的な経営を行う大規模保有林業経営体の特徴：林雅秀（山形大学）	S3-5 ビッグデータを用いた国立公園利用の経済分析：柘植隆宏（上智大学）ら		S10-5 木質バイオマス燃料を目的とした早生樹導入の可能性と課題：富山啓介（岩手大学）ら	
10:15		S4-6 農林業センサスにおける立木買い・受託素材生産経営体の動向：藤野正也（福島大学）	S3-6 スマートフォンによる市民参加型生物多様性モニタリング：藤木庄五郎（株式会社バイオーム）		S10-6 木質バイオマスガス化発電に適した燃料供給の現状と課題：久保山裕史（国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所）	
10:30	討論・調整	S4-7 農林業センサスにおける地域性と森林組合のシェア：笹田敬太郎（(国研)森林総合研究所）	S3-7 風力発電施設の視覚的影響評価に関する国内外の研究動向：OECMへの示唆：内田正紀（東京大学）		S10-7 転換点における木質バイオマス産業用熱利用の導入形態に関する考察：澤田直美（一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会）	
10:45			S3-8 人口縮退期における農村集落の将来シナリオと環境影響評価に関する研究：謝知秋（九州大学）			
11:00			S3-9 松阪市における土地利用変化：農地転用の傾向と要因の考察：祖父江侑紀（東京大学）			
11:15						
11:30						
11:45	討論・調整					
12:00						

研究発表題目（企画シンポジウム・公募セッション・部門別口頭発表） 3月8日 午後 1/2

会場	331	332	341	342	343	411	412
開始時刻	学会企画 1						
12:00							
12:15	ダイバーシティ 若手雇用問題についての 情報交換						
12:30							
12:45							
13:00							
13:15		ポスター発表コアタイム					
13:30							
13:45							
14:00		S13 変動環境	T5 樹木根	S1 樹木の環境適応	T3 森林放射能	教育 2	林政 2
14:15		S13-1 ケヤキの成木と苗木の葉におけるオゾン吸収速度の比較とその違いの解析：渡辺誠（東京農工大学）ら	趣旨説明	S1-1 ダケカンパ産地試験林の設立経緯と現代的意義：後藤晋（東京大学大学院農学生命科学研究科）ら	趣旨説明	C4 博物館の展示にみる新たな森林環境教育の可能性：三浦万由子（日本大学大学院）ら	A7 農山村の内発的発展にむけた移住促進政策の役割：北海道下川町を事例として：黒田峻平（北海道大学）ら
14:30	学会企画 2	S13-2 多層ガス交換モデルに基づくスギ針葉のオゾン吸収量の樹冠内鉛直分布の推定：田中亮志（東京農工大学）ら	T5-1 二次林の異なる樹種がもたらす斜面崩壊防止力の比較：今若舞（兵庫県立大学大学院）ら	S1-2 5つの産地試験林を用いたダケカンパの光合成特性の種内変異の評価：飯尾淳弘（静岡大学）ら	T3-1 森林斜面からの浅層地下水流出によるCs-137移行フラックスの推定：庭野佑真（筑波大学）ら	C5 森林体験と探究的学習を定点カメラ映像で繋ぐプログラムのプロトタイプ開発：中村和彦（東京大学）ら	A8 道の駅における林産物出荷者の特徴：志賀薫（森林総合研究所）ら
14:45		S13-3 異なる土壌に生育したヤマナシ風2種の虫害発生とオゾンの影響：小池孝良（北海道大学）ら	T5-2 大雨を伴う台風で引き起こされる風倒と崩壊のリスク要因の比較：森本洋子（北海道大学大学院）ら	S1-3 ダケカンパ実生の個体および個体スケールの光合成特性とその種内変異：廣田充（筑波大学）ら	T3-2 安定同位体 Cs を用いたコナラとスギの土壌からの放射性 Cs 吸収深度の推定：今村直広（森林総合研究所）ら	C6 地域活性化を目指した木育ものづくり活動の実践：大園慶（上越教育大学）ら	A9 旧尾鷲町の山道における利用の変遷と整備・管理の実態：平山和虎（東京大学）ら
15:00		S13-4 常緑広葉樹葉が展葉期に示す分光特性変化の適応的な解釈：久米篤（九州大学）ら	T5-3 アラスカ永久凍土上に生育する3樹種の樹根発生位置と肥大成長量の経時変化：菊川拓聖（信州大学）ら	S1-4 南北にわたるダケカンパの表現型変異と自然選択：小集団化との関連：相原隆貴（筑波大学）ら	T3-3 野生山菜コシアブラに <sup>137</sup> Cs を供給する土壌深度の推定：渡邊未来（国立環境研究所）ら	討論・調整	討論・調整
15:15		S13-5 変動する大気環境に対する日本海側の森林葉水圏の応答：佐瀬裕之（アジア大気汚染研究センター）ら	T5-4 <sup>13</sup> C ラベリングによるカラマツ根根の年輪への光合成産物配分の季節変動：木元来子（信州大学）ら	S1-5 ダケカンパの補栽環境と産地の違いによる遺伝子発現：津村義彦（筑波大学）ら	T3-4 2014～23年の川俣町山木屋地区広葉樹林のリターと幹材の <sup>137</sup> Cs動態：小林達明（千葉大学大学院）ら	討論・調整	空き
15:30	副会長 造林学・森林生態学と自然再興	S13-6 ガスおよびエアロゾルの大気-森林間交換：松田和秀（東京農工大学）ら	T5-5 冷温帯9樹種における細根・葉・土壌に含まれる一次代謝産物の樹種間差：勝間帆波（信州大学大学院）ら	S1-6 Effects of elevated temperature on survival and growth of <i>Betula ermanii</i> revealed by range-wide provenance trial: Aye Myat MyatPaing（東京大学）ら	T3-5 シュートの二次成長が休眠期のコナラ当年枝の <sup>137</sup> Cs 放射能濃度に与える影響：三浦寛（森林総合研究所）ら	（ここで予定されていた講演は3月10日に移動）	A10 明治期の秩父地域におけるニホンオオカミの駆除：植松朔子（東京農業大学）ら
15:45			討論・調整				A11 ふもとばらキャンプ場における捕獲されたシカの多用途利用について：稲富拓人（筑波大学）ら
16:00			T5-6 丹沢スギ林の地上部・地下部生産フェノロジー：仲畑了（東京大学）ら				A12 山形県西置賜郡のブナ林の地球観測衛星画像をマタギと一緒に見る：林剛平（東京外国語大学）ら
16:15	学会企画 3		T5-7 深層学習を用いた細根自動抽出ソフトウェアによる成長・枯死根の抽出：山形拓人（兵庫県立大学）ら				A13 屋久島における宿泊業の盛衰過程：ロングステイの可能性を探る：西宮琉之助（東京大学大学院）ら
16:30			T5-8 森林生態系における樹木根の発達と機能の最近の理解の進展：牧田直樹（信州大学）ら				A14 都道府県・市町村における自伐林業及び自伐型林業推進方針・施策の類型化：土居拓務（農林水産政策研究所）ら
16:45			討論・調整				A15 林業労働における現代的低賃金構造の予備的考察：伊藤幸男（岩手大学）ら
17:00			ポスター紹介				討論・調整
17:15	合同 求む！森林科学の卒業生		討論・調整（総合討論）				A16 2020年代における自伐型林業研修受講者の特性と就労意向：佐藤直子（九州大学）ら
17:30							A17 事例にみる森林組合経営の課題：松本美香（高知大学）
17:45							A18 国有林施業と受注事業体の傾向～九州森林管理局データ5年間の分析～：富野岳明（九州大学大学院）ら
18:00							討論・調整
18:15							
18:30							
18:45							
19:00							

研究発表題目（企画シンポジウム・公募セッション・部門別口頭発表） 3月8日 午後 2/2

会場	413	431	432	441	442	443
開始時刻						
12:00						
12:15						
12:30						
12:45						
13:00	ポスター発表コアタイム					
13:15						
13:30						
13:45						
14:00						
	経営 2	S6 林業経済学	T1 多様性保全	T2 保健休養機能	S9 スマート林業	防災・水文 1
14:15	D9 スギ高齢林の樹冠形状と樹高成長の関係について：福井翔宇（株式会社パスコ）	S6-1 林業経済学の歩みをふりかえり、これからを考える：柴崎茂光（東京大学） S6-2 2000年代以降の研究史を概観する：三木敬朗（信州大学）	T1-1 南三陸地域イヌワシ生息環境再生に向けた森林管理の特徴：工間（京都大学）	T2-1 事例検討：内的作業モデルの対象としての風景：尾崎勝彦（びわこリハビリテーション専門職大学）	S9-1 スマート林業は何を指しているのか？：鹿又秀聡（森林総合研究所） S9-2 スマート林業の現場実装に向けた林野庁の取組：本山淳一（林野庁）	J1 地下水モデルへの接続を目的とした広域森林情報の活用と森林水循環評価：五味高志（名古屋大学）
14:30	D10 トドマツ人工林の連年成長量に対する環境要因の効果：滝谷美香（道総研林業試験場）	S6-3 林業経済学に求められているリサーチエッセンス：ワークショップを経て：岩永青史（名古屋大学）	T1-2 人工林の管理は様々な気候・季節で遷移初期性・森林性鳥類の回復に役立つ：河村和洋（森林総合研究所）	T2-2 Understanding the Diversity and Status of Urban Trees and Herbaceous Plants of Setagaya Ward: キハラママーヴン（Tokyo University of Agriculture (NODAI)）	S9-3 長野県におけるGNSS測量技術の普及とRTK基準局設置の取組み：松永宙樹（長野県森林組合連合会）	J2 森林の成熟が土砂災害発生に与える影響の全国的評価：篠原慶規（宮崎大学）
14:45	D11 深層学習を用いた林内画像による林分情報の解析：浅井天哉（京都府立大学大学院）	S6-4 林業経済学の未来に向けて：リサーチエッセンス探求の経緯と議論：田村典江（事業構想大学院大学）	T1-3 温帯二次林における甲虫群集の垂直・水平分布：石塚達也（東京農工大学大学院）	T2-3 都市近郊の里山を活用した森林散策カウンセラー：若手女性職員の事例：竹内啓恵（樹つ木合同会社 / 東京農業大学）	S9-4 レーザ機器等を活用した林業事業体による立木評価の現場実装への取組み：山田隆信（山口県森林総合技術センター）	J3 未経験降雨指数による近年の土砂災害を引き起こした降雨の解析：小杉賢一朗（京都大学）
15:00	D12 異なる環境条件下の打撃音に基づく樹高・材積推定深層学習モデルの精度検証：藤橋 浩（京都府立大学大学院）		討論・調整	T2-4 九州の病院における森林療法の導入：上原巖（東京農業大学）	S9-5 オルソ画像認識 AIエンジン開発における学習データセット整備の効率的な手法：木村一也（石川県森林組合連合会）	J4 斜面崩壊の引き金となる降雨評価法について：執印康裕（九州大学）
15:15	討論・調整		T1-4 多樹種が共存する亜熱帯広葉樹林の更新ニッチに影響する iPPFD の差：谷口真吾（琉球大学）	討論・調整	S9-6 林業アプリ WoodRepo ユーザの利便性向上と効率的運用への取組み：上野直人（株式会社エイブルコンピュータ）	討論・調整
15:30	D13 地上レーザーによる森林内下層植生状況の把握：岩崎有莉沙（千葉大学）		T1-5 樹種混植と施肥が個体成長に及ぼす影響 - 幼齢樹木多様性実験の結果から：齋藤大（フラインク大学）		S9-7 深層学習 Web アプリにて活用するための UAV 林内全天球画像の選別：矢田豊（石川県森林総合研究センター）	
15:45	D14 森林内空隙構造による微気象への影響評価：青柳寛太郎（千葉大学）		T1-6 保持林業の四国での適用：水源林のスギ・ヒノキ人工林での取り組み：山浦悠一（森林総合研究所）		S9-8 森林の管理優先度を広域評価する技術の提案と実装に向けて：鷹尾元（森林総合研究所）	
16:00	D15 地上レーザーを用いたクロマツ海岸林の曲がり樹形解析：山田誠太郎（千葉大学）		討論・調整			
16:15	D16 超小型バックパックレーザースキャナを用いた立木幹直径と矢高の計測精度検証：米康充（島根大学）		T1-7 気候変動下で持続的な生態系サービス供給を実現する森林管理のシナリオ分析：堀田亘（北海道大学）			
16:30	討論・調整		T1-8 王子グループの生物多様性保全の取り組み：ネイチャーポジティブの実現へ：豊島悠哉（王子マネジメントオフィス株式会社）			
16:45	D17 里山林内に生育するスギ・ヒノキの生態系サービスの貨幣価値評価：江口則和（人間環境大学）	T4 デジタルツイン	T1-9 生物多様性保全と森林管理のための制度的取り組み：堀靖人（森林総合研究所）			
17:00	D18 森林調査におけるドローンレーザー計測手法と計測精度の検証：市菜華弘（日本森林林業振興会）	趣旨説明	討論・調整			
17:15	D19 UAV-LiDAR データからの樹幹形質推定精度の検証：平岡裕一郎（静岡県立農林環境専門職大学）	T4-1 森林を含む全国規模のデジタルツインの構築を目指して：中村良介（産業技術総合研究所）		風致・観光 1		
17:30	D20 複数サイトを対象とした森林計測と検証 ②機械学習モデルの構築：緒方誠二郎（鹿島建設株式会社）	T4-2 森林デジタルツインの構築に向けた現状と課題：瀧誠志郎（国研）森林総合研究所）		B1 牧野道を活用した草原ライド参加者の草原保全の意識に関する研究：蓮池辰哉（東京農業大学）		
17:45	討論・調整	T4-3 デジタルデータを活用した自動走行フォワーダの開発：中澤昌彦（森林総合研究所）		B2 阿蘇くじゅう国立公園における牧野組合の野焼き支援ボランティアの導入要因：奥山雄斗（東京農業大学）		
18:00		T4-4 森林デジタルツイン構築に資する環境データのIoTモニタリングシステム：南光一樹（国立研究開発法人森林研究・整備機構）		B3 茨城県阿見町における竹林の現状と竹林を活かした地域づくりの可能性：入江彰昭（東京農業大学）		
18:15		討論・調整		討論・調整		
18:30						
18:45						
19:00						